

議会活性化特別委員会 次第

【日時】令和7年2月13日（木）

新幹線・観光誘客特別委員会終了後開会

【場所】加賀市役所 別館 301会議室

・協議報告事項

- 1 早稲田大学マニフェスト研究所議会改革度調査への回答案について 資料1
- 2 議員向けハラスメント研修について
- 3 大聖寺実業高校からの提言書について
- 4 「地方議会の議員活動のあり方及び自治体の政策に関する市区議員調査」について
資料2

次回開催日（予定）	4月10日（木）午後	301会議室
-----------	------------	--------

この度は、ご多用のところ「地域経営のための議会改革度調査2024」にご回答くださって、ありがとうございます。

回答期日：2025年2月17日（月）17時まで

一時保存

【議会改革度調査2024】

■ 入力内容について

- ・各回答につき期間の指定がない場合、2024年中（2024年1月1日～2024年12月31日）の取り組み状況を記入してください。継続中の取り組みなどは回答される時点での情報をお願いします。
- ・設問・回答に関して補足などがある場合は、設問31、43、52に自由記述欄がございますのでご記入ください。なお、【補足で自由記述いただく際は、設問番号を明記してください】
- ・自由記述欄について、特になし場合は空欄としてください。「特になし」等の回答を記入いただく必要はありません。
- ・☐ 該当するもの全てチェックください（複数選択が可能です）。☐ 当てはまるもの一つチェックください（単一回答）。

■ 一時保存について

- ・本ページはアクセスしてから1時間で接続が切れてしまうため、長時間にわたって回答する場合や複数回に分けて回答する場合は、必ず、画面上部の「一時保存」をクリックし内容を保存してください。
「一時保存」をクリックせず画面を閉じるとデータが失われますのでご注意ください。
- ・回答を再開する際は、メールでお知らせしている各自のID・パスワードにてURLにアクセスしご回答いただけます（ID・パスワードを記載したメールは保存しておいてください）。
- ・回答完了後でも 調査期間終了まで回答内容の変更は可能です。

■ 調査に関するご質問について

調査期間中は大変多くのご質問をいただきます。皆様に正確な情報をお伝えするため、お手数ですが調査に関するご質問は下記の「地域経営のための議会改革度調査2024」特設ウェブサイトよりお寄せくださいますようお願いいたします。

- （1）URLにアクセスしてください。<https://gikai.maniken.online/contact01/>
- （2）ページ中の「質問専用 フォーム」よりご質問を入力してください。
- （3）調査期間中、毎週金曜日の17時までに、前日正午までに頂いた質問への回答をQ&Aとして掲載しますので、ご確認ください。

■ 調査結果の活用について

（1）個別データ票・レーダーチャートの個別送付について

分野ごとの得点、重点的に配点したポイントや全国で比較した場合の「個別データ票」、分野ごとの得点とトップ層、平均との比較をグラフ化した「レーダーチャート」を個別に送付します。ご自身の議会の立ち位置を把握し、さらなる改革にお役立てください。

（2）順位について

ご回答いただいた全ての議会さまにつきまして、事務局で集計を行います。取り組みを数値化してランキングにしたTOP300までを公表し、調査比較に活用させていただきます。ご事情により非公開を希望される議会におかれましては、大変お手数ですが事務局までその旨ご一報いただけますようお願いいたします。

なお、TOP300以下は公表しませんが、回答議会さまに個別に順位をお知らせします。

調査ご回答にあたりご理解・ご協力をいただけますようお願い申し上げます。

■ 基礎情報

1. 都道府県*

----- 石川県 ----- ▼

2. 議会名*

加賀市議会

3. 担当者名*

川野上 真人

4. 電話番号*

0761-72-7965

5. ファックス番号*

0761-72-5305

6. メールアドレス*

メールアドレス：gikai@city.kaga.lg.jp

メールアドレス(確認用)：gikai@city.kaga.lg.jp

7. 直近の議員一般選挙の投票率を小数第一位まで回答してください。直近が2025年の場合は2025年で回答してください。*

58.8%

☐ 無投票だった

☐ 一部の選挙区で無投票だった

8. 直近の議員一般選挙の立候補者数と当選者数、その選挙年月日をお答えください。*

当選者数（定数）：18

立候補者数：21

☐ 無投票当選だった

☐ 一部の選挙区で無投票だった

選挙年月日：令和3年10月3日

9. 議員と事務局の職員それぞれの条例定数を回答してください。また、在籍中の議員の人数（男女その他）を回答してください。*

議員 17人（在籍する男性議員 16人、女性議員 1人、その他議員 0人）

事務局 9人（在籍する事務局 8人）

10. 議員の平均年齢を選択してください。※2024年12月31日現在で回答してください。なお12月31日以降に改選があった場合でも、その時点の構成議員で計算ください。※小数点第一位で繰り上げてください。例：55.5歳→56歳*

----- 64歳 -----



※「25歳」～「85歳以上」1歳区切りの選択肢

11. 議員の平均期数を選択してください。※2024年12月31日時点で回答してください。なお12月31日以降に改選があった場合でも、その時点の構成議員で計算ください。※小数点第一位で繰り上げてください。例：3.8期→4期*

----- 4 期 ----- ▼

※「1期未満」「1期」～「10期」、「11期以上」の選択肢

12. 議員報酬及び政務活動費の月額を回答してください。※役職で報酬額が異なる場合は、一般の議員の月額で回答してください。

※政務活動費を年額制で交付している場合は、平均月額に換算してお答えください。なお、交付制度がない場合は「0」とご記入ください。※時限的に報酬、活動費を減額や凍結している場合でも、本則に規定する通常額を記入ください。*

議員報酬（一人当たり）： 480,000円（一円単位）

政務活動費（一人当たり）： 80,000円（一円単位）

■ 政策力の強化

13. 政策形成や議論の深化にタブレットやPCを活用している事例を回答してください（2024年中）。*

■ 統計データの収集、分析に活用している

☐ 議論を分かりやすくするために、統計データをグラフ化して活用している

■ 他自治体の事例調査に活用している

■ 住民アンケート結果の分析に活用している

■ タブレット上でリアルタイムに資料を共有しながら討議している

☐ 遠隔地の事例調査（オンライン視察）に活用している

☐ 専門家の意見の聴取（オンラインでの意見交換）に活用している

■ ペーパーレスで資料を共有している

■ その他

☐ 該当するものはない

14. 設問13で選択したものについて、具体例を回答してください。※500字以内

①令和6年9月には4年に1度の住民アンケートを実施した。その際はLoGoフォームを活用し、その結果はタブレットに移し、アンケート項目とその結果を議員が必要な都度、閲覧できるようにしている。②本会議の議員の質問時にタブレットを活用し、積極的に資料・写真等を利用している。また、資料写真等のデータは、ケーブルテレビやYouTubeの中継映像にリアルタイムで挿入されるようにしている。③傍聴に来た方に閲覧用のタブレットを用意しており、資料等情報提供に活用している。④加賀市議会災害等対策支援本部の設置については、市対策本部が設置された場合において、議長が必要と認める場合に設置し、議会業務継続計画を発動することとしている。令和6年1月能登半島地震発生時にも議会对策本部を設置し、タブレットを活用したオンライン会議により情報共有を行った。⑥議員と事務局とのやり取りの中でLINEWORKSやGメールも活用し、連絡手段として活用をしている。

15. 議会における生成AIの利用状況を回答してください。（2024年以外のものも可）。*

■生成AIの利用指針・ルールがある

- ☐ 議会が生成AIの有料アカウントを契約している
- ☐ 執行部の契約する生成AIの有料アカウントを議会が利用している
- ☐ 議員に貸与しているタブレットやPCで生成AIを利用できる
- ☐ 生成AIに関する研修会を議会が開催した（外部講師を含む）
- ☐ 生成AIを活用して質問を行った議員がいる
- ☐ 会議録の作成に生成AIを利用している
- ☐ 会議録の速報に生成AIを利用している
- ☐ 会議録の要約に生成AIを利用している
- ☐ ライブ配信等に生成AIを活用している
- ☐ 所管事務調査で生成AIを利用している
- ☐ 事務局の業務に生成AIを利用している
- ☐ 生成AIで作成した議会botを利用している
- ☐ 政策情報や背景調査の補助に事務局が生成AIを利用している
- ☐ 議会だよりの素案や掲載内容の要約に生成AIを利用している
- ☐ 住民からの問い合わせへの対応や説明資料の作成に生成AIを利用している

■その他

- ☐ 該当するものはない

16. 議会として生成AIを利用する上での課題を回答してください。*

- ☐ タブレットやPCの接続環境に問題がある

■セキュリティに懸念がある

- ☐ 操作方法に問題がある
- ☐ 議員の理解に問題がある

■費用の負担に問題がある

- ☐ 執行部の同意が得られていない
- ☐ 活用方法がわからない
- ☐ AIの効果に疑問がある
- ☐ その他
- ☐ 該当するものはない

17. タブレットやPCの会議（本会議、委員会）における活用状況を回答してください。（2024年末時点時点）*

	本会議	常任委員会	特別委員会
タブレット（貸与）の持ち込みを認めている	■	■	■
議員個人所有のタブレット（BYOD）の持ち込みを認めている	■	■	■
PC（貸与）の持ち込みを認めている	■	■	■
議員個人所有のPC（BYOD）の持ち込みを認めている	■	■	■
タブレットの持ち込みを認めていない	□	□	□
PCの持ち込みを認めていない	□	□	□
その他	□	□	□
該当するものはない	□	□	□

18. 議会や委員会として執行部に対して行った提言はありますか。議員個人の一般質問、会派代表質問、会派としての提案等は除きます。（2024年中）*

- ☐ 議会として提言書（要望書）を提出した
- ☒ 委員会として提言書（要望書）を提出した
- ☐ その他
- ☐ 該当するものはない

19. 設問18のうち、「縮小・削減」に言及したものはありますか。*

- ☐ 策定している計画の廃止または見直しを提言した
- ☐ 公共施設の統廃合や縮小を提言した
- ☐ 類似した業務の統合または効率化を提言した
- ☐ 自治体間連携や広域化を提言した
- ☐ 規制や事業の廃止または見直しを提言した
- ☐ 補助金や助成金の廃止または見直しを提言した
- ☒ 業務のデジタル化によるコストの削減を提言した
- ☐ 会議体の廃止を提言した
- ☐ その他
- ☐ 該当するものはない

20. 設問18のうち、「組織・人材マネジメント」に言及したものはありますか。*

- ☐ 人事評価制度の見直しを提言した
- ☐ 研修内容の見直しを提言した
- ☐ 首長・経営層が関与する会議体の設置を提言した

- ☐ HR-Tech(ヒューマンリソースに関するDX)の導入を提言した
- ☐ 中堅・若手職員の退職の減少に関する提言をした
- 業務のスクラップ&ビルド(最適化)に関する提言をした
- ☐ 役職定年により降任となった職員の配置に関する提言をした
- ☐ その他
- ☐ 該当するものはない

21. 委員会提案または議員提案による条例を制定しましたか。(2024年中)*

- ☐ 政策に関する条例を制定した
- ☐ 理念条例を制定した
- ☐ 個人情報保護に関する条例を制定した
- 政治倫理に関する条例を制定した
- ☐ 議員定数に関する条例を制定した
- ☐ 議員報酬に関する条例を制定した
- その他の条例を制定した
- ☐ その他
- ☐ 該当するものはない

22. 上記の条例名を回答してください。※500字以内

- ①加賀市議会政治倫理条例の一部改正
- ②加賀市議会委員会条例について一部改正

23. 議会として、修正に関する権限行使を行いましたか。(2024年中)*

- ☐ 委員会提案による修正案(委員会の決定が修正意見の場合)を可決した
- ☐ 議員提案による修正案を可決した
- ☐ 総合計画または総合戦略の修正案を可決した
- ☐ 予算案の修正を可決した
- ☐ その他
- 該当するものはない

24. 条例、会議規則や要綱等に基づいて行われる議員間討議を行いましたか。(2024年中)*

- ☐ 本会議における議案の審議で行なった
- ☐ 本会議における請願の審議で行なった
- ☐ 委員会における議案の審議調査で行なった
- ☐ 委員会における請願の審議調査で行なった
- ☒ 常任委員会における所管事務の調査で行なった
- ☒ 政策討論会・全員協議会などで行なった
- ☒ その他
- ☐ 該当するものはない

25. 他の自治体や機関と連携する仕組み（連携協定の締結や継続的な会議体の設置など）はありますか。（2024年中）※500字以内

連携先（自由記述 500字以内）

- ①金沢大学法科大学院
- ②福井県あわら市議会

連携内容（自由記述 500字以内）

- ①：議会の政策法務能力向上や調査機能の強化を図ることを目的としている。これまでに議会提案の条例づくりや各種政策課題への対応についてアドバイスをいただいている。
- ②：国道8号4車線化や北陸新幹線にかかる共通課題の早期解決のため、国や国会議員に対し、県境を越えた要望を行っているほか、議員資質向上のための議員研修会を開催している。

26. 議会として、総合計画や総合戦略に関わる仕組みや実績はありますか。（2024年末時点時点）*

- ☒ 自治法96条2項の議決事件に総合計画（一部も含む）を追加している
- ☒ 自治法96条2項の議決事件に総合戦略を追加している
- ☐ 総合計画に基づき、施策成果の評価検証を議会が行った(2024年中)
- ☐ 総合戦略に基づき、施策成果の評価検証を議会が行った(2024年中)
- ☐ 総合計画または総合戦略の評価検証結果を議会が公表している(2024年中)
- ☐ 評価検証に基づき、総合計画または総合戦略の修正を議会が行った(2024年中)
- ☐ 調査に基づき、総合計画・総合戦略の修正を議会が行った(2024年中)
- ☐ その他
- ☐ 該当するものはない

27. 選挙後に全議員の選挙公約や政策を住民は見るができますか。（2024年末時点）*

- ☐ 議会のウェブサイト（選挙管理委員会のページは除く）で選挙公報を見ることができる
- ☐ 議会のウェブサイトで政策等(選挙公報以外)を見ることができる
- ☐ 議会が発行する広報等の紙媒体で見ることができる
- ☐ 見るができない（議会としては行っていない）
- ☐ その他
- ☒ 該当するものはない

28. 議長選挙で、候補者がマニフェストや所信を表明したり、公開する仕組みはありますか。（2024年末時点時点）＊

- ☐ マニフェストや所信などを本会議で表明する
- ☐ マニフェストや所信などを本会議以外（委員会、全員協議会、議会運営委員会等）で表明する
- ☐ マニフェストや所信などを表明している動画を議会のウェブサイトで配信する
- ☐ マニフェストや所信などを議員に配布する（紙媒体）
- ☐ マニフェストや所信などを議会のウェブサイトで公開する
- ☐ マニフェストや所信などの表明に対して、議員が質問できる
- ☐ その他
- ☒ 該当するものはない

29. 議員一般選挙の選挙公報発行にかかる条例を制定していますか。（2024年末時点時点）＊

- ☒ 制定している
- ☐ 制定していない

30. 議員一般選挙の選挙ビラ公費負担にかかる条例を制定していますか。（2024年末時点時点）＊

- ☒ 制定している
- ☐ 制定していない

31. 設問13～30までの補足、「その他」を選択した場合の説明、関連する特筆すべき取り組みについてあれば自由に記載してください（2024年中）「文頭に補足説明する設問番号を明記ください」。※500字以内

- ①執行部側でChatGPT活用のためのガイドラインあり。
- ②金沢大学法科大学院との連携協定において、例年9月定例会にあわせて学生のインターンシップ受入れを行っている。その中で、学生から議員へ質問を行う機会を設けるが、今回、議員の回答と生成AIでの回答の内容を比較し、両方を提示することがあった。生成AIの回答については、加賀市議会議員としての個別具体的な事例等を加えることで、より説得力のある回答ができる可能性も見受けられ、今後は導入に向けた検討も出てくると思われる。

■ 主権者の参画

32. こどもや若者が議会・議員と交流する機会を議会として提供しましたか。（2024年中）＊

- ☐ 小学生を対象としたこども議会を開催している
- ☒ 中学生を対象とした中学生議会を開催している
- ☐ 高校生を対象とした高校生議会を対象としている
- ☒ 議会として、学生等のインターンシップを受け入れている（議員や会派での受け入れは除く）
- ☒ 学校や教員と連携して、議員が学校に出張する取り組みを行なっている
- ☐ 学校や教員と連携して、こどもや若者が請願・陳情を出している
- ☒ その他
- ☐ 該当するものはない

33. 小学生・中学生・高校生議会などの取り組みで工夫したことはありますか。（2024年中）＊

- ☐ 教育委員会と共催で開催している
- ☐ プログラムの検討段階から学校（教職員や校長）と協力している
- ☐ 自治体内のすべての学校から児童や生徒が参加している
- ☐ 年2回以上開催している
- ☒ 参加する児童や生徒は学校の推薦で選ばれている
- ☐ 出された意見を検討する会議体を議会として設けている
- ☒ 出た意見に対して議会としてフィードバックをしている
- ☒ 出た意見が政策等に反映された（2024年に限定しません）
- ☐ その他
- ☐ 該当するものはない

34. 議会報告会（住民との意見交換会を含む）を開催した回数を回答してください。（2024年中）＊

- 10回
- ☐ 開催していない

35. 議会報告会（住民との意見交換会を含む）に参加した延べ人数を回答してください。（2024年中）＊

- 278人
- ☐ 人数はカウントしていない
- ☐ 開催していない

36. 議会報告会（住民との意見交換会を含む）で工夫したことはありますか。（2024年中）＊

- ☐ 児童、生徒、学生や住民が報告会の企画運営に参加している
- ☒ 報告会の内容を議会ウェブページで公開している
- ☐ 報告会の動画を議会ウェブページで公開している
- ☐ オンライン形式（Zoomなど）で開催している
- ☒ 複数会場で開催している
- ☒ テーマ（若者、子育て世代、高齢者向けなど）を設定して開催している
- ☐ 駅前や商業施設など、公共施設以外で開催している
- ☐ 議決結果などの決定事項だけでなく、議論の背景やプロセスも説明している
- ☒ 住民からの質問や意見交換をメイン（半分以上の時間を割く）としている

- ☐ ファシリテーターなど、進行役を外部から招いて進行している
- ☐ 手話通訳や字幕を活用し、誰でも参加しやすい環境を提供している
- ☒ 報告会で出た意見を議会としての提言に反映させる仕組みがある
- ☐ その他
- ☐ 該当するものはない

37. 住民の意見を聞く工夫をしていますか。（2024年中）*

- ☒ 若者や子育て世代などに対象を限定したアンケートをオンラインで行なっている
- ☐ 対象を限定していないアンケートをオンラインで行なっている
- ☐ 若者や子育て世代などに対象を限定したアンケートを紙媒体で行なっている
- ☐ 対象を限定していないアンケートを紙媒体で行なっている
- ☐ 本会議や委員会で住民が発言できる「フリースピーチ」を実施している
- ☐ 傍聴者に発言を認めている
- ☐ 地域のイベント等で議会としてブースを設けている
- ☐ オンラインの合意形成プラットフォームを活用している
- ☒ 議会報告会とは別にワークショップを開催して住民意見を聞いている
- ☐ 本会議や委員会（休憩中を含む）で議案に対する意見を住民が発言できる
- ☐ その他
- ☐ 該当するものはない

38. 議会だよりの発行や配布で、工夫していることはありますか。（2024年末時点時点）*

- ☐ 住民が編集に参加できる
- ☐ 住民の意見を掲載している
- ☐ 議員による住民のインタビュー記事を掲載している
- ☐ 議会だよりに関する住民アンケートを実施している
- ☒ 音声版や点字版の提供を行なっている
- ☐ 議会だよりのダイジェストを動画で提供している
- ☒ 動画や関連資料へのリンクをQRコードで提供している
- ☐ 漫画やイラストを使った解説を行なっている
- ☒ 事後の報告ではなく議会前の予告として発行している
- ☒ 年齢層や障害に配慮したフォントやレイアウトを採用している
- ☐ 子ども・若者向けに読みやすい工夫をしている
- ☒ その他
- ☐ 該当するものはない

39. 住民の議会への参加を進めるために行った取り組みはありますか。（2024年中）*

- ☐ 休日（土曜・日曜）に議会を開催している
- ☐ 平日の夜間に議会を開催している
- ☒ 全ての人（乳幼児を含む）が傍聴できる

- ☒ 傍聴人用の資料を提供している
- ☒ 議員に配布する資料と同じものを傍聴人に配布している
- ☐ リアルタイムでの字幕表示を行っている
- ☐ 子育て中の方が託児スペースや保育サービスを利用できる
- ☒ 車いすで傍聴可能
- ☐ 親子傍聴席を設置している
- ☐ 許可不要で傍聴席にて水分補給が自由に認められている
- ☒ その他
- ☐ 該当するものはない

40. 議会で議論している内容を住民が知るための取り組みはありますか。指定がないものは、本会議で取り組まれているものを回答してください。（2024年末時点）*

- ☒ 常任委員会も含め、ライブで中継している
- ☐ 本会議のみライブで中継している
- ☒ 議案を事前に議会のウェブページで公開している
- ☐ 議案を事後に公開している
- ☒ 議案の説明資料などの付属資料を事前に議会のウェブページで公開している
- ☐ 議案の説明資料などの付属資料を事後に議会のウェブページで公開している
- ☒ 文字検索（文字認識）可能なデータ形式で会議録を議会のウェブページで公開している
- ☐ 議案の審議状況を議会のウェブページで公表している
- ☒ 議員個人の議案等に対する賛否をウェブサイトで公表している
- ☒ 議員個人の議案等に対する賛否を議会だよりで公表している
- ☐ その他
- ☐ 該当するものはない

41. 住民は、議会のウェブサイトで議員の情報を見ることができますか。（2024年末時点）*

- ☐ 政策等の取組、実現状況を見ることができる
- ☐ 自己紹介動画を見ることができる
- ☐ 略歴等の自己紹介を見ることができる
- ☒ 議員名(顔写真付き)を見ることができる
- ☒ 議員個人のサイト等へのリンクを見ることができる
- ☐ 議員個人のサイト等へのリンクを見ることができる
- ☒ 議員個人の連絡先を見ることができる
- ☐ その他
- ☐ 該当するものはない

42. 住民は、政務活動費に関する資料を見ることができますか。（2024年末時点）*

	活動の内容が分かる書類	収支報告書	領収書等の書類	独自の使途基準・ガイドライン
--	-------------	-------	---------	----------------

議会のウェブページで見ることができる	☐	☒	☐	☒
議会図書室に配架している	☐	☐	☐	☐
資料を見る場合には、事務局への申出を必要としている（開示請求手続なし）	☐	☐	☐	☐
資料を見る場合には、事務局への申出を必要としている（開示請求手続あり）	☒	☐	☒	☐
非公開としている（作成なし含む）	☐	☐	☐	☐
その他	☐	☐	☐	☐
該当するものはない	☐	☐	☐	☐

43. 設問32～42までの補足、「その他」を選択した場合の説明、関連する特筆すべき取り組みについてあれば自由に記載してください（2024年中）「文頭に補足説明する設問番号を明記ください」。※500字以内

設問32：①毎年、石川県立大聖寺実業高校の高校生と加賀市議会議員とで意見交換会を行っている。いただいた意見を定例会及び委員会で質問等に反映している。②議員が小・中学生に議会や市政について話す「おでかけ教室」（議会出前講座）を実施している。③市内小中学校に対して議会傍聴の案内を行っている。今年度は6月定例会にて小学校3校の傍聴を受け入れた。

設問38：議会だよりで「届け！私たちの声」と題し、市内の各種団体や学校などの市政に対する意見や要望を写真付きで掲載している。

設問39：①HPだけでなく、ケーブルテレビ、SNS（インスタ、Facebook）を活用して議会報告会等の実施等の周知を行っている。②YouTubeを活用し、定例会の予告や各委員会の紹介動画等を作成して配信することで、議会の取り組みについて積極的な発信を行っている。③本会議では手話通訳も同時に行っている。また、今後は字幕を付けることを検討していく。

■ 議会機能の強化

44. 議会力強化に関して、事務局の取り組みで工夫したことはありますか。2024年の取り組みでなくても回答してください。*

- ☐ 「議会事務局」から「議会局」に改称している
- ☐ 事務局から議会に対する提案制度があり、議会基本条例などで規定している
- ☒ 議会力向上のための研修に職員が参加している
- ☒ デジタル人材育成の研修に職員が参加している
- ☒ 法務担当職員がいる
- ☐ 議員向けの調査レポートを発行している
- ☐ 議会単独による事務局職員定数条例を制定している（〇〇市職員定数条例からの分離制定など）
- ☒ 議会独自に職員（会計年度任用職員を含む）を採用している
- ☐ 地公法に基づく議長秘書職を任用している
- ☐ テレワーク体制を導入している
- ☒ 議長や議会事務局長が人事評価者である（議会内で全て完結している）
- ☐ その他
- ☐ 該当するものはない

45. 2024年度予算において、一般会計に占める議会費の予算額と、議会費に占める研修費（職員が使える研修負担金）の予算額を回答してください。※補正予算での対応があった場合、補正を含めた金額で回答してください。*

一般会計の予算額（単位：千円）

38,133,800（千円）

一般会計に占める議会費の予算額（単位：千円）

267,366（千円）

議会費に占める研修費の予算額（単位：千円）

0（千円）

46. 議会改革に関する工程表を作成していますか（2024年末時点）*

- ☒ 作成し、公表している。評価や検証の仕組みがある。
- ☐ 作成し、公表している。評価や検証の仕組みはない。
- ☐ 作成しているが、公表していない。評価や検証の仕組みがある。
- ☐ 作成しているが、公表していない。評価や検証の仕組みはない。
- ☐ 作成していない
- ☐ その他
- ☐ 該当するものはない

47. 議会基本条例を制定していますか。*

- ☐ 〇 制定している
- ☐ 〇 制定していない
- ☒ ● 制定後に、改正している（2024年以外も可）
- ☐ 〇 その他

48. 議会活動の評価や検証に関する取り組みはありますか。（2024年以外の取り組みも可）*

- ☒ ■ 議会基本条例に基づく評価、検証を実施し、結果を議会のウェブページで公表している
- ☐ □ 議会基本条例に基づく評価、検証を実施しているが、議会のウェブページでは公表していない
- ☐ □ 外部の個人や団体による外部評価を実施し、結果をウェブサイトで公表している
- ☐ □ 外部の個人や団体による外部評価を実施しているが、ウェブサイトでは公表していない
- ☐ □ 住民による外部評価を実施し、結果をウェブサイトで公表している
- ☐ □ 住民による外部評価を実施しているが、ウェブサイトでは公表していない
- ☐ □ その他
- ☐ □ 該当するものはない

49. 公表している議会のウェブページのURLを回答してください。※500字以内

<https://www.city.kaga.ishikawa.jp/gikai/kassei/7024.html>

50. 災害に対する議会としての備えはありますか。指定のあるものを除き、2024年のものでなくても回答してください。*

- ☒ ■ 議会版BCPを策定している
- ☐ □ 議会版BCPの評価を行なっている
- ☐ □ 議会版BCPを修正している
- ☒ ■ 議会として訓練を実施している
- ☒ ■ 議会が実施する訓練でタブレットを活用している
- ☐ □ 復興プランや復興計画が議決事項になっている
- ☐ □ 復興プランや復興計画を議決している（2024年中）
- ☐ □ 議会として災害に対する意見書や報告書を出した（2024年中）
- ☐ □ 災害対策本部に議員が参加する仕組みがある
- ☐ □ その他
- ☐ □ 該当するものはない

51. 議会図書室の運営で、工夫していることはありますか。（2024年以外の取り組み以外も可）*

- ☒ 図書室内に常駐する職員または司書がいる
- ☒ 行政資料室との連携または併設がある
- ☒ 公共図書館との連携または併設がある
- ☐ 国会図書館との連携がある
- ☐ その他の連携がある(図書関連団体や図書関連事業)
- ☐ 議員向けの図書室だよりを発行している
- ☐ 図書室外で議員が電子図書や資料を見ることができる
- ☒ 住民が図書室で図書を閲覧できる
- ☐ インターネットに繋がった端末を設置している
- ☐ 議会として契約した新聞や資料などのデータベースを閲覧できる端末が設置されている
- ☐ その他
- ☐ 該当するものはない

52. 設問44～51までの補足、「その他」を選択した場合の説明、関連する特筆すべき取り組みについてあれば自由に記載してください
(2024年中)「文頭に補足説明する設問番号を明記ください」。※500字以内

設問45：人事課予算の職員研修費にて議会事務局職員研修を受けている。また、研修費としては予算付けはしていないが、南加賀、石川県及び北信越の市議会議長会での研修にも職員は参加している。

53. 各設問以外で特筆すべき取り組みはありますか（2024年中）。※なお、ご回答いただいた取組内容について、弊所が「マニフェスト大賞」へ推薦応募する場合があります。特に配慮すべき事情があり他薦を辞退される場合はその旨ご記入ください。

※1000字以内

①PPDCAサイクルとして、議会報告会や議会市民アンケート調査など議会や委員会が行う行為に関し、計画（Plan）、手順・経過（Proccess）、実行（Do）、検証（Check）、改善（Action）といった一連のサイクルを適用することにより、その行為の進行管理、結果の振り返り、成果の評価及び次の目標設定などに活用している。②上記①の取組の結果、毎年、各委員会による政策条例の提案や執行部への提言に繋がっている。また、条例制定後の検証にもつながっており、これまで「加賀市の地域医療を守る条例」、「加賀市災害対策基本条例」、「加賀市乾杯条例」の検証を行っている。令和6年9月定例会では、令和5年9月定例会に引き続き「デジタル田園健康特区に関する取組についての提言書」を提出した。

ご回答ありがとうございました。

印刷は次の「確認ページ」をご活用ください。

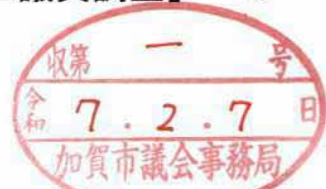
回答完了後も、回答期間内であれば再度ログインし内容を修正できます。

一時保存

確認

「地方議会の議員活動のあり方及び自治体の政策に関する市区議員調査」への ご協力をお願い

各市区議会事務局 御中



お忙しいところ恐れ入ります。私たちは早稲田大学と東北大学で教員をしております尾野嘉邦（政治経済学術院教授）、河村和徳（情報科学研究科准教授）と申します。3年前に実施いたしました議会事務局及び議員調査に際しましては、多大なるご協力をいただき、ありがとうございます。おかげさまで高い割合の事務局・議員の方々からご回答いただき、その単純集計結果は、下記のホームページにて公開いたしております。

再びの調査への協力依頼で大変恐縮ですが、貴議会所属の議員の皆さまにアンケートに答えていただきたく、調査票を送付させていただきました。お忙しいところ恐れ入りますが、調査票を議員の方々に配布いただき、記入済み調査票をとりまとめまして返送いただけますと幸いです。

皆さまにご協力いただきました回答結果は、学術研究としての公開はもちろんのこと、全国都道府県議会議長会・全国市議会議長会・全国町村議会議長会へ報告を行うなど、情報共有をしながら皆様方にも還元させていただきたいと考えております。前回の調査結果は、全国市議会議長会・全国町村議会議長会共同編集の雑誌『地方議会人』（中央文化社）の連載記事「地方議員のための選挙トリビア」（全20回、2022年5月号から2024年3月号まで）で紹介させていただいたほか、各種議員研修資料として利用させていただきました。今回の調査も、前回は踏襲し、その成果を皆様方に還元させていただく所存です。

回答につきましては、集計の上、すべて統計的に処理されますので、個別の回答結果が公表されることは一切ありません。議員の皆さまにその旨をお伝えいただければと思います。「議員選挙を控えている」「マンパワー的に厳しい」などの理由で対応が難しい事務局があることは重々承知しておりますが、調査研究の趣旨をご理解いただき、調査へのご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

なお、3年前に実施しました議会事務局に対する調査の単純集計は、既に下記 URL で公開しております。お手すきの際にご確認いただければ幸いです。

集計結果の公開 URL <http://kawamurakazunori.net/data.html>



この調査の発送、回収につきましては、（株）サーベイリサーチセンターへの委託により実施しております。ご回答につきましては、大変恐れ入りますが、令和7年2月28日（金）目処に同封の封筒にてご返信いただければ幸いです。

※御多忙の場合は、この期日にこだわらず、可能なタイミングで構いませんので、ご回答をいただけますと幸甚です。（3月中も受付しております。）

回答方法やお問い合わせについては、裏面をご覧ください。

令和7年2月吉日

河村和徳（東北大学大学院情報科学研究科准教授）
尾野嘉邦（早稲田大学政治経済学術院教授）

【本調査について】

- ・本調査は、議員定数に応じて調査用品を送付しております。
※複数個の封筒に分けてお送りしている場合がございます。
- ・送付セット(1封筒)の内容物は以下のとおりとなっています。
 - ①調査依頼状(本紙)・・・1枚
 - ②調査票 ・・・議員定数に応じた枚数
 - ③返送用封筒 ・・・送付セット1ヶにつき、1枚

【調査の方法…議会事務局様へのご協力のお願い】

- ①本調査は、議員を対象としたものです。
調査票を各議員に配布いただくことにご協力をお願いいたします。
- ②議員から回答済み調査票を回収し、返送用封筒にまとめて入れ、令和7年2月28日(金)目処にご返送ください。議員の方に QR コードから直接オンラインで回答を入力していただくことも可能となっておりますが、その場合は調査票の表紙の下の欄に○をつけて回収してください。

※2～3月の議会を通じての配布、回収を想定しております。

令和7年2月28日(金)目処にご投函いただけるよう、議会事務局様で回答期限を設定し、各議員へご案内くださいますようお願いいたします。
(3月中も受付しております。)

お手数をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

ご不明な点等ございましたら、下記の調査事務局までご連絡ください。

【本調査のお問い合わせ先】

調査委託実施機関 株式会社サーベイリサーチセンター 東北事務所

「地方議会の議員活動のあり方及び自治体の政策に関する市区議員調査」

事務局：担当 伊東

<https://www.surece.co.jp/>

TEL: 022-302-6148 (平日 10 時～12 時、13 時～17 時)

Email: ito_s@surece.co.jp